

武石温泉 うつくしの湯 整備事業
武石温泉 うつくしの湯 施設改修
建築主体工事

上田市都市建設部建築課

有限会社 設計工房風の色

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-00	表紙・図面リスト				
A-01	建築改修工事 特記仕様書 1				
A-02	建築改修工事 特記仕様書 2				
A-03	建築改修工事 特記仕様書 3				
A-04	建築改修工事 特記仕様書 4				
A-05	建築改修工事 特記仕様書 5				
A-06	構造関係 特記仕様書 1				
A-07	解体工事 特記仕様書 1				
A-08	敷地案内図・配置図				
A-09	地階平面図（現況図）				
A-10	1 階平面図（現況図）				
A-11	塔屋平面図・屋根伏図（現況図）				
A-12	断面図（現況図）				
A-13	仕上表（現況・改修）				
A-14	1 階平面図（改修図）				
A-15	1 階平面詳細図（現況）解体指示図				
A-16	1 階平面詳細図（改修図）				
A-17	1 階天井伏せ図（現況）				
A-18	1 階天井伏せ図（改修）				
A-19	建具表・各詳細図				
A-20	厨房・大広間仕切り壁改修詳細図				
A-21	杭伏図（鋼管圧入工）				
A-22	外構解体指示図及び外構復旧指示図				
A-23	仮設計画図				

[illegible]

8. 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種
建物内部の木製建具に使用する材料、接着剤、塗料のホルムアルデヒド放数量
※ F☆☆☆☆又は規制対象外
・ フラッシュ戸
接着の程度 水掛かり箇所(※ 1類) ※ その他(※ 2類)
表面材の化粧の種類

化粧の種類		規 格 等	表面板の厚さ(mm)	備 考
・ 普通化粧板	板面の品質 樹種名 (広葉樹 ※ 1等 ・ 針葉樹 ・)		※ 2.5以上	
・ 天然木 化粧化粧板	樹種名 ()		※ 3.2以上	
・ 特殊加工 化粧化粧板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・ F ・ FW ・ W ・ SW) タイプ		※ 2.4以上	
・ MDF	表面面状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()			

召し合わせかまのいんろう付け ・ なし ・ あり
・ かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 ()
見込み寸法 ※ 36mm ・ 建具表による ・
・ ふすま 張りの種類 (・ I 型 ・ II 型)
上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は裏紙程度
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)
見込み寸法 ※ 19.5mm ・ 建具表による ・
・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・
・ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ・ 建具表による ・
枠、くつずりの材料 ※ 建具表による ・

⑨ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質 ※ 改修標仕表5.8.1による ・
建具に使用する丁番 ※ 改修標仕表5.8.2~4による ・
木製建具に使用する戸車とレール ※ 改修標仕表5.8.5による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ・ 建具表による ・
・ 錠前類
シリンダーサイド ※ 外側シリンダー、内側サムターン ・ 建具表による ・
実用性能項目 (JIS A 1541-I及びJIS A 1541-IIによる)
耐じん性能 ・ グレード1 ○ グレード2
デッドボルトの寸法 ○ グレード3 (17mm)以上
その他の性能項目はグレード3とする。また鍵による施錠が可能なものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキシシステムが構築できるものとする。
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品
・ クローザー類
ディレッドアクション(遅延閉)機能 ・ 建具表による ・ あり ・ なし
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品
・ キンシステムの種類、構成 ・ 錠製作時に監督員より指示する ・
マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
鍵の引き渡し
※ 錠11に対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、直接引き渡す
・ 錠11に対し対応する鍵3本を1組とし、室名札を付け、鍵箱に収納して引き渡す

[5.8.1, 2]

10. 自動ドア開閉機構

自動ドア	性 能	防 鎖	検出装置の性能と種類	凍結防止
・ SS3D-1 ・ SS3D-2 ・ DS3D-1 ・ DS3D-2	※ 改修標仕表5.9.1による		性能 ※表5.9.3による ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ (無線式 ・ 光線式) ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用者用便房スイッチ (・ 押しボタン ・ 非接触)	・ 行う (適用箇所は 建具表による) ・ 行わない
・ 車椅子使用者用便房出入口	※ 改修標仕表5.9.2による	・ 適用する ・ 適用しない		
・ 図示				

品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.9.2, 3]

11. 自閉式上りり引戸装置

性能 ※ 改修標仕表 5.10.1 による
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.10.3]

12. 重量シャッター

シャッターの種類	耐風圧強度
・ 管理用シャッター	耐風圧強度 () N/m ²
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²
・ 屋内用防火シャッター	
・ 屋内用防塵シャッター	

開閉機能による種類 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置、障害物感知装置の設置場所 ※ 図示
・ 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 ※図示
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用銅板
銅板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき銅板) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき銅板)
めっきの付着量 ※ Z12又はF12
ガイドレール、まぐさ、雨掛かりの座板、座板カバー、スイッチボックス類の蓋
ステンレス銅板 ※ SUS304, SUS430J1又はSUS443J1
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.11.2, 3]

13. 軽量シャッター

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
電動式シャッターの障害物感知装置の設置場所 ※ 図示
スラットの材質
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板) めっき付着量 (※ Z06又はF06)
・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板)めっき付着量 (※ AZ90)
スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.12.2~4]

14. オーバーヘッドドア

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※ スチールタイプ	・ 125 ・ 100	※ バランス式	・ スタンダード形	※ 溶融亜鉛めっき銅板
・ アルミニウムタイプ	・ 75	・ チューン式	・ ローヘッド形	(めっき付着量※Z27)
・ ファイバーグラスタイプ	・ 50	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス銅板
・ パーチカル形				

障害物感知装置の設置場所 ※ 図示
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[5.13.2, 3]

15. ガラス

・ フロート板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
・ 磨き板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
・ すり板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
・ 型板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
・ 網入板ガラス 模様 ・ 梨地 ・ かすみ ・ その他 ()
・ 網入板ガラス、網入板ガラス

種 類	板の表面の状態	網 種	厚さ(ミリ)
・ 網入板ガラス	・ 網入磨き板ガラス	・ かく網	※ 図示
・ 網入板ガラス	・ 網入型板ガラス	・ ひし網	
・ 網入板ガラス	・ 網入磨き板ガラス		
・ 網入板ガラス	・ 網入型板ガラス		

・ 合わせガラス
材料板ガラス種類の組合せ ※ 建具表に図示
材料板ガラスの厚さの組合せ、合わせガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示
材料板ガラス種類及び厚さの組合せ特性による種類 ・ I 類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類

・ 強化ガラス
材料板ガラスによる種類 厚さ(ミリ) 特性による種類
・ フロート強化ガラス (※ 平面 ・ 曲面) ※ 図示 ・
・ 型板強化ガラス ※ 4 ・ I 類 ・ III類
・ 熱線反射強化ガラス ※ 図示 ・

・ 熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類 厚さ(ミリ) 性能による種類
・ 熱線吸収フロート板ガラス ※ 図示 ・
・ 熱線吸収磨き板ガラス
・ 熱線吸収網入磨き板ガラス
・ 熱線吸収網入磨き板ガラス ※ 6.8
・ 熱線吸収網入型板ガラス

・ 複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示
断熱性による区分 (・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6)
日射取得性及び日射遮蔽性による区分 (・ G (日射熱取得率0.5以上) ・ S (日射熱取得率0.49以下))
乾燥気体の種類 (・ 空気 ・ アルゴン ・ クリプトン ・ ネオン)

⑩ 熱線反射ガラス
板ガラスによる種類 厚さ(ミリ) 日射避へい性による区分 耐久性による区分
・ フロート板ガラス
・ 磨き板ガラス
・ 熱線吸収フロート板ガラス ※ 図示 ・
・ 熱線吸収磨き板ガラス
・ 平面強化ガラス
・ 倍強度ガラス
反射被覆面 ・ 内面 ・ 外面
映像調整 ・ 行わない ・ 行う

・ 倍強度ガラス
名 称 材料板ガラスによる種類 厚さ(ミリ) 備 考
フロート倍強度ガラス
・ フロート板ガラス
・ 磨き板ガラス
・ 熱線吸収フロート板ガラス
・ 熱線吸収磨き板ガラス
熱線反射倍強度ガラス
・ 熱線反射ガラス

ガラスの留め材及び溝の大きさ
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 樹脂製
・ シーリング材
・ ガスケット
・ グレージングチャンネル形
鋼製及び鋼製軽量
・ シーリング材
ステンレス製
・ シーリング材
品質・性能 ※ 建築材料・設備機材等品質性能評価による評価名簿記載の製品

[3.7][5.14.2~4]

16. ガラスブロック

表面形状	呼び寸法	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・ 正方形	・ 125×125	80	・ クリア	・ 乳白	・ 平積み	・ 曲面積み
	・ 160×160	95	・ 125	・ 15	・ 25	・ 15以下
	・ 200×200	95	・ 125	・ 15	・ 25	・ 15以下
	・ 320×320	95	・ 125	・ 15	・ 25	・ 15以下
・ 長方形	・ 250×125	80	・ 125	・ 15	・ 25	・ 15以下
	・ 320×160	95	・ 125	・ 15	・ 25	・ 15以下

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ※ 図示) ・ 設けない
力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) ・ 図示
寸法 ※ 径5.5mm ・ 図示
形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 ・ 図示
化粧目地モルタルの色 ()
シーリング材 ・ 標仕表9.7.1の被着体の組合せで適合するもの
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法、形状 ※ 図示
工法
耐風圧性能(建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法)
※ 適用する (一般共通事項により製造所の指定による) ・ 適用しない
目地部の力骨の補強方法
※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示

[3.7][5.14.5]

17. ガラス用フィルム

名 称	種 類	張 り 面	性能値
・ ガラス飛散防止フィルム	GS	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率D1
・ 日射調整フィルム			
・			

品質 JIS A 5759Iによる

[5.15.2~4]

1. 改修範囲等

既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う ・ 図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う ・ 図示
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま ・ 図示

[6.1.3]

⑪ 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ(接着剤とも)
・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て)
合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ○ 目荒し工法

[6.2.2]

⑫ 既存壁の撤去及び下地補修

開口切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※ 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り
モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
既製目地材 ・ 使用する(形状)
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※ 図示
○ 図示

[6.3.2]

⑬ 木下地等5-1. 表面仕上げ

木材の品質 ・ 改修標仕6.5.2による ・ 信州木材認証製品又は同等品 ・ 市販品
木材の含水率
下地材 ※ A種 ・ B種 造作材 ※ A種 ・ B種

[6.5.1]

5-2. 製材

・ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等 級 形 状 含 水 率 間伐材等の適用
※ 2級 ・
※ 2級 ・
※ 2級 ・
・ 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等 級 形 状 含 水 率 間伐材等の適用
・ 上小節
・ 小節 ・
・ 上小節
・ 小節 ・
・ 上小節
・ 小節 ・
・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等 級 形 状 含 水 率 間伐材等の適用
※ 1級 ・
※ 1級 ・
※ 1級 ・
・ 「製材の日本農林規格」以外の製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 造作材の材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の適用
(・)
造作材の場合 (※ A種 ・ B種)

[6.5.2]

5-3. 造作用集成材

ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外
・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
施 工 箇 所 樹 種 寸法(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の適用
※ 1等 ・ 2等
※ 1等 ・ 2等
※ 1等 ・ 2等
・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材
施 工 箇 所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の等級 間伐材等の適用
※ 1等 ・ 2等
※ 1等 ・ 2等
※ 1等 ・ 2等
・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材
施 工 箇 所 樹 種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含 水 率 間伐材等の適用
※ 15%以下
※ 15%以下
※ 15%以下
・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
施 工 箇 所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用
※ 15%以下

[6.5.2]

5-4. 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外
・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
施 工 箇 所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用
・ 有り(加工 ・ 天然木加工 ・ 塗装加工)
・ 無し(等級)

[6.5.2]

5-5. 直交集成材

ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外
施 工 箇 所 品名 強度等級 種別 接着性能 樹種名 寸法 間伐材等の適用

[6.5.2]

⑭ 化粧板等

ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外
・ 下地用化粧板
施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 間伐材等の適用
※ 5.5
○ 2.0
※ 1類 広葉樹 ※ 2等以上 ・ 1等
・ 2類 針葉樹 ※ C-D以上 ・
・ 構造用化粧板
施工箇所 厚さ(mm) 等級 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用
※ 12
・ 2級以上
・ 1級
※ 1類 ※ 特類(常時湿潤状態)
※ C-D以上
・ 適用する
・ 適用しない
・ 適用する
・ 適用しない
・ 天然木化粧化粧板
施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 化粧板に使用する単板の樹種 防虫処理 間伐材等の適用
・ 適用する
・ 適用しない
・ 特殊加工化粧化粧板
施工箇所 品名 厚さ(mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の適用
・ オーバーレイ
・ プリント ・ 塗装
・ 適用する
・ 適用しない
・ パーティクルボード
施 工 箇 所 厚さ(mm) 表面面状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分
※ 15
※ 13タイプ
※ P又はM
・ 構造用パネル
施 工 箇 所 厚さ(mm) 等 級
・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級
・ MDF
施 工 箇 所 厚さ(mm) 表面面状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分

[6.5.2]

⑮ 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭表し
諸金物の形状、寸法 ※ 標仕表6.5.3~5による ・ 図示
諸金物の材質 ※ 標仕表8.20.1のF種程度 ・ 図示
接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ホルムアルデヒドの放数量 ※ F☆☆☆☆

[6.5.3, 4]

⑯ 防虫・防蟻

・ 防虫、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位 ()
・ 薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理
通 用 部 位 保存処理性能区分
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ 薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理
JIS K 1571付属表A(規定)に基づく表面処理用木材保存材による。処理の適用、薬剤の種類及び適用部位
通 用 部 位 薬剤の種類
※ 図示
※ 図示
※ 図示
処理の方法 ※製造所の仕様による ・ 図示
・ 接着材への薬剤混入による防虫・防蟻処理
適用部位 ()
・ 化粧板の加圧注入処理等による防虫・防蟻処理
適用部位 ()
・ 防虫処理
適用部位 ()

[6.5.5]

5-8. 木材材種

鉄筋コンクリート造等の内部開口切組及び床組
開口切組に用いる木材 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示
床組に用いる木材 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示
土間スラブの種の場合 ※ 保存処理木材 ・ ひのき ・ 図示
意、出入口その他
吊元材、水掛りの下枠及び敷居 ※ ひのき ・ 図示
その他 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示
縁甲板及び上りがりがちに用いる木材 ※ ひのき ・ 図示
壁及び天井下地 ※ 杉 ・ 松 ・ 図示

[6.5.6]

⑰ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類
※ 屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) ※ 屋内 (※ 19 形 ・ 25 形)
屋外の軒天井、ビロティ天井等
屋外での施工
野縁受、フリボルト及びインサートの間隔及び周辺部の端からの距離 ※ 図示
野縁の開口 ※ 図示
ダクト等の開口によりフリボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※ 図示
・ 天井のふとこが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※ 改修標仕6.6.4(8) (7)~(4)による ・ 図示
・ 天井のふとこが3.0mを超える場合
補強方法 ※ 図示
・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 図示
補強方法 ※ 図示
・ 屋外の軒天井及びビロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強
補強方法 ※ 図示

[6.6.2~4]

⑱ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
※ 改修標仕表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※ 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※ 標仕6.7.4(5) (7) ~ (9)による ・ 図示

[6.7.3, 4]

上田 市 都 市 建 設 部 建 築 課

事業年度

R-06

事業名

図 名

武石温泉うつくしの湯整備事業
武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事

SCALE

No Scale

NO.

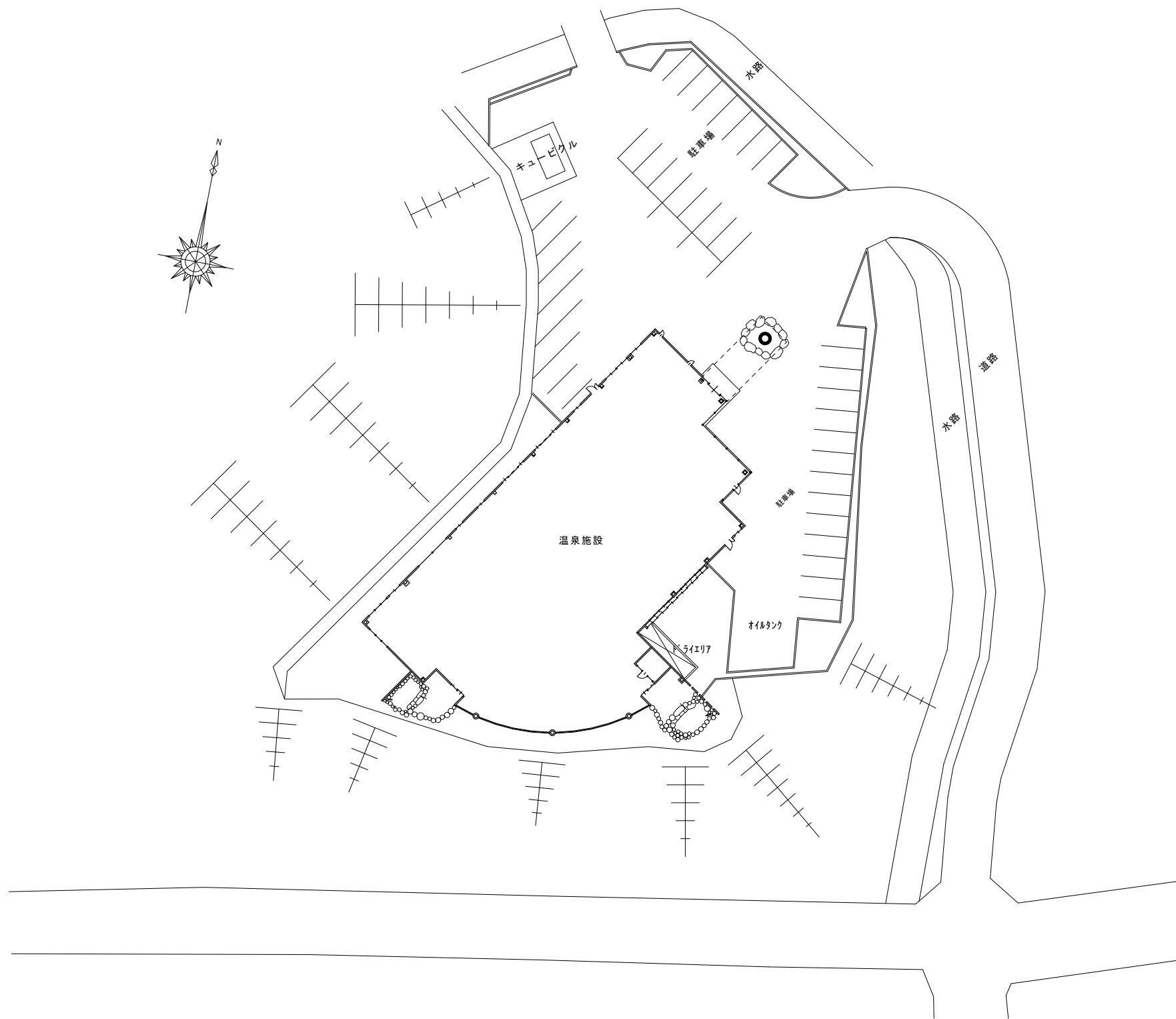
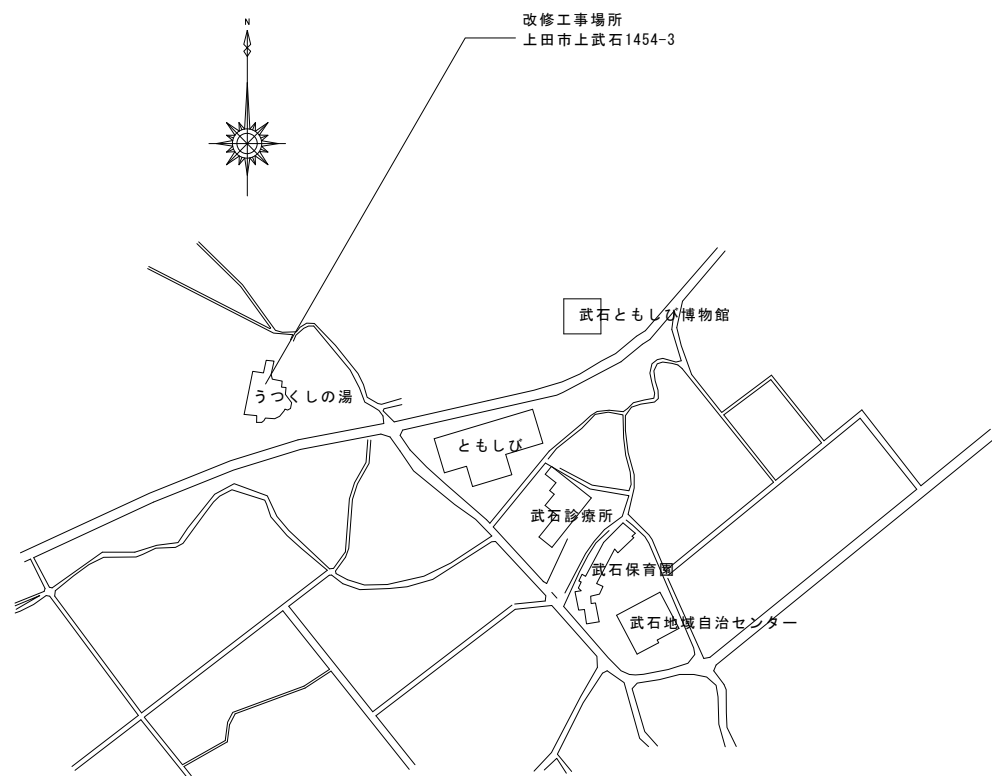
A-03

2024.07改訂





[illegible]



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-06

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市箕田町本原2113-1
代表者 飯島康男

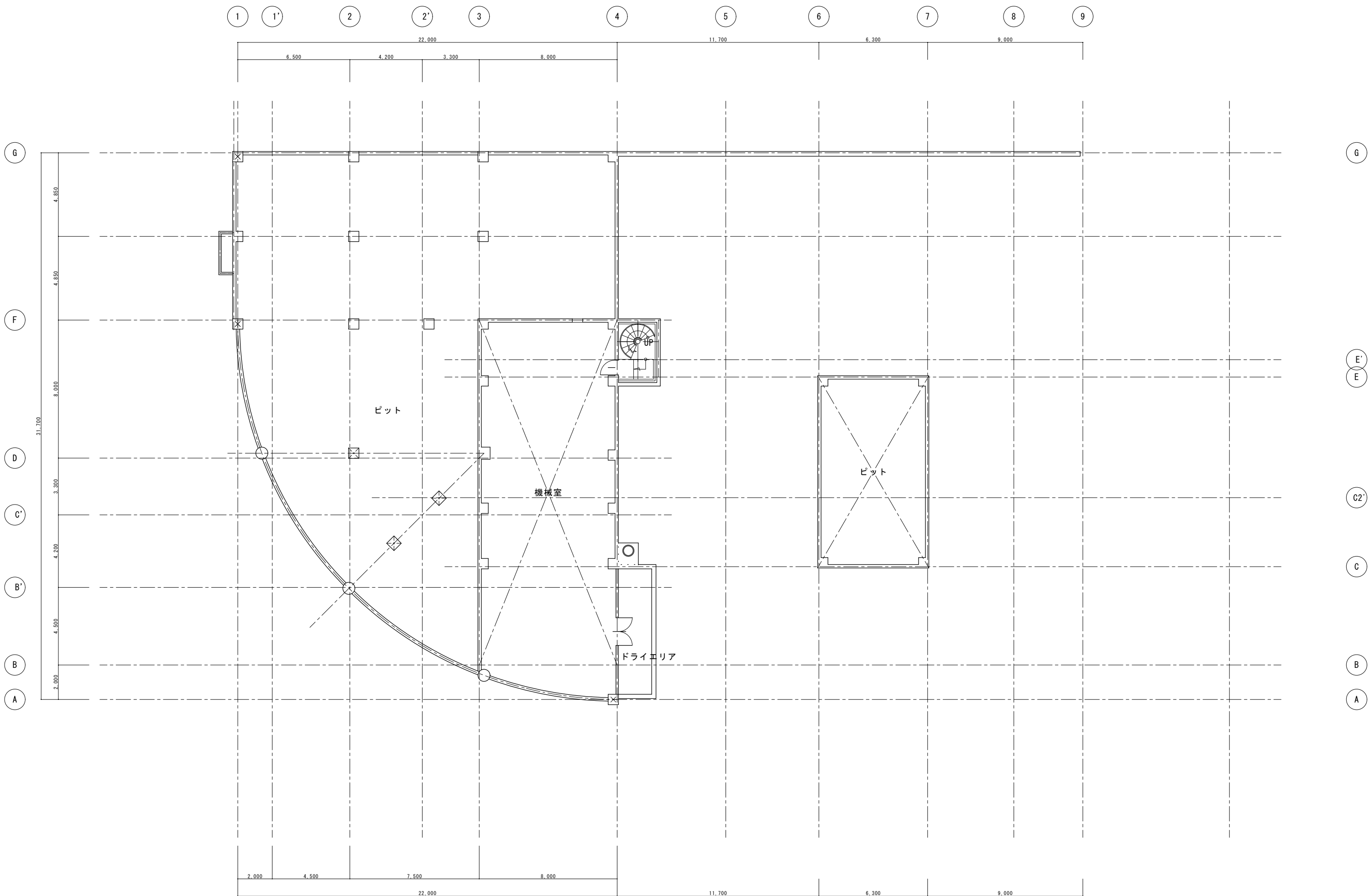
設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

事業名
図名

武石温泉うつくしの湯整備事業
武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事
敷地案内図・配置図

SCALE

NO.
A-08





上田市都市建設部建築課

事業年度
R-06

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

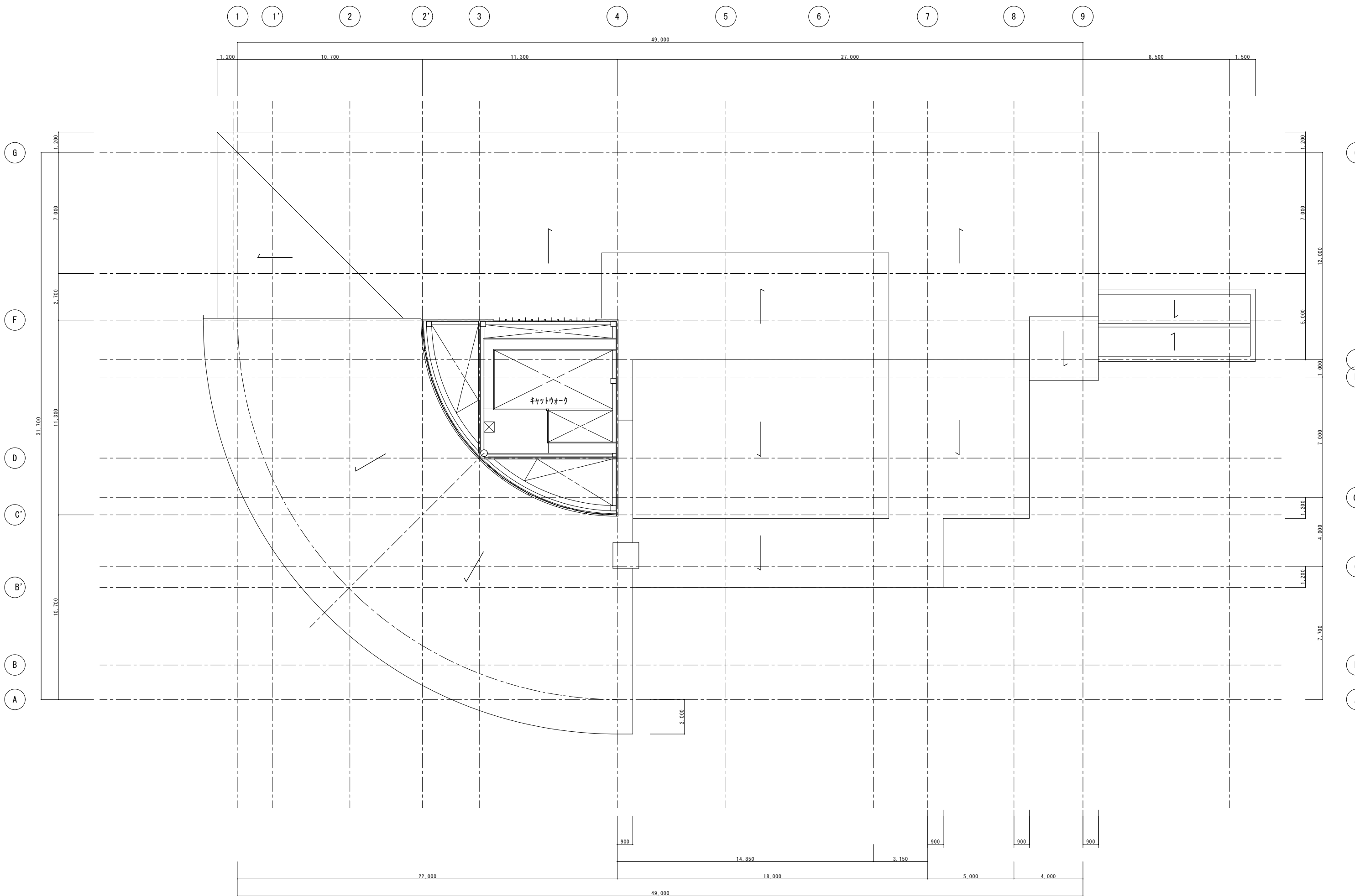
設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

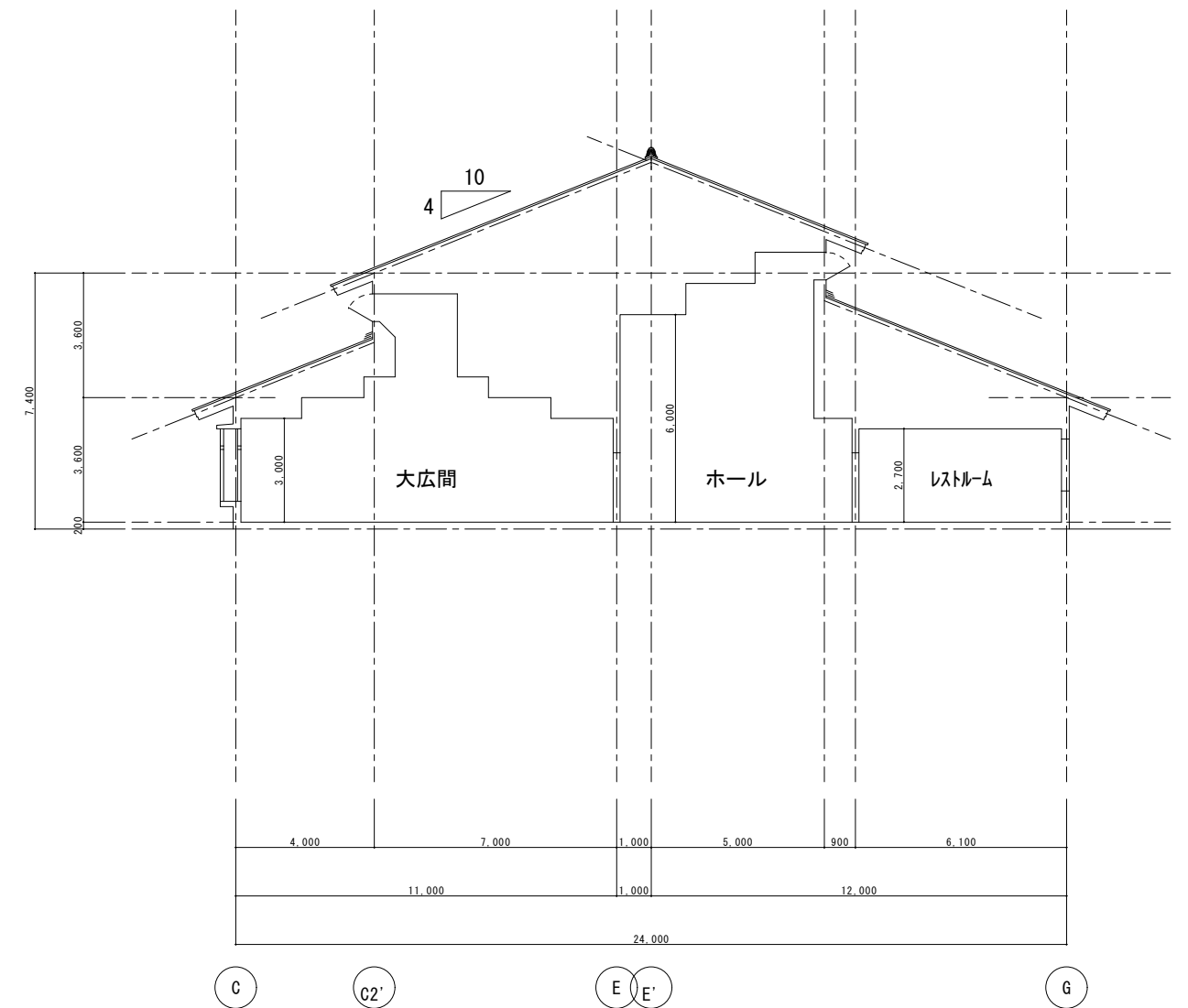
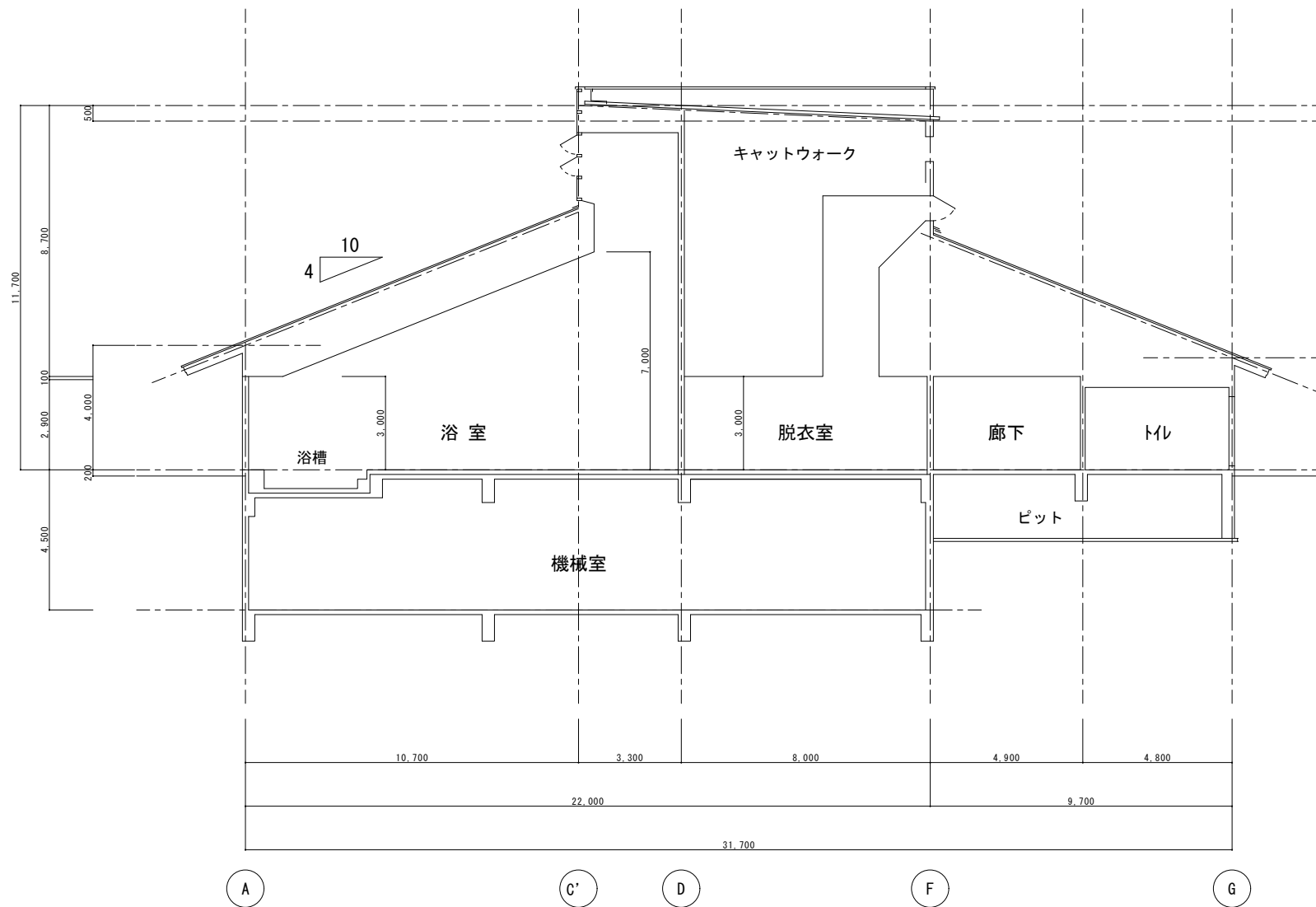
事業名
図名

武石温泉うつくしの湯整備事業
武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事
1階平面図（現況図）

SCALE
S=1:100

NO.
A-10





上田市都市建設部建築課

事業年度
R-06

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市箕田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録 第187506号
飯島康男

事業名
図名

武石温泉うつくしの湯整備事業
武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事
断面図(現況図)

SCALE
S=1:100

NO.
A-12

外 部 仕 上 表

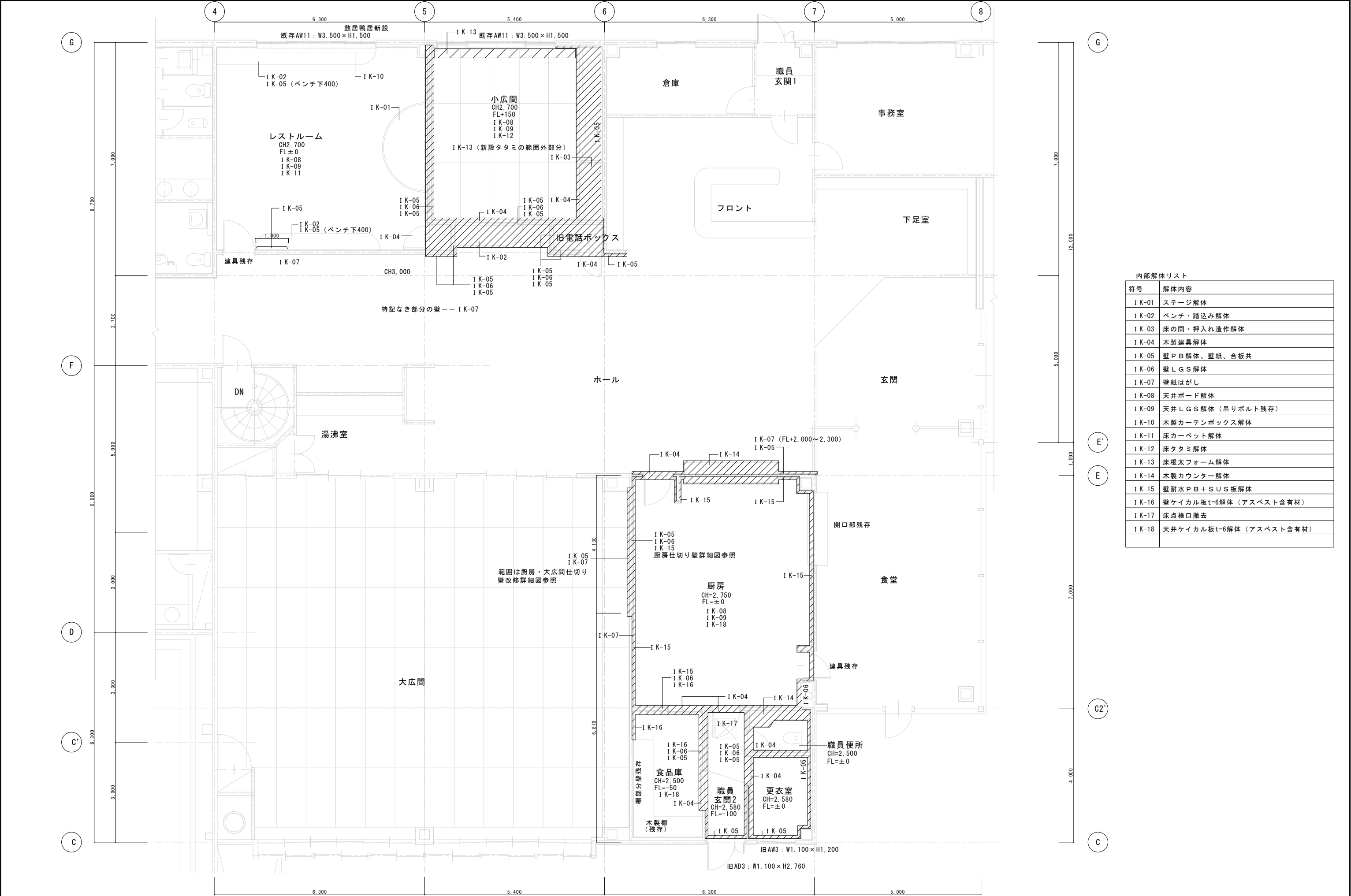
屋 根	切妻部分：耐火野地板t=25下地 アスファルト・フィング 22kg品 和型陶器瓦葺き	外 壁	壁：ＡＬＣ版t=100 弾性リシン吹付 一部 結晶化ガラス貼り 腰：コンクリート打放し 弾性リシン吹付 一部 鉄平石貼り H=1,000	露天風呂	床面：鉄平石貼り 浴槽：アスファルト防水 押えコンクリート モルタル 鉄平石貼り 周囲：巨石積み
	浴室部分：耐火野地板t=25下地 アスファルト・フィング 22kg品 ガルバリウム鋼板t=0.4一文字葺き 一部 ガルバリウム鋼板t=0.5折版葺き（ハゼ）H=90 システム断熱工法（グラスウール・ドットt=25）			キャンピー	屋根・幕板・軒天：ガルバリウム鋼板t=1.5加工
軒 天	ケイ酸カルシウム板t=6目透し張り ＶＰ塗り 一部有孔板	破風・鼻隠し	木製 木材保護着色塗料塗り	雨 樋	軒樋：ガルバリウム鋼板t=0.5加工 受金物：FB-5×50 FP 縦樋：ステンレス製φ100・75（既製品）
外部改修					
		外 壁	壁：ＡＬＣ版t=100目地部分 アクリルコーキング打替え 着色塗装		

内 部 仕 上 表

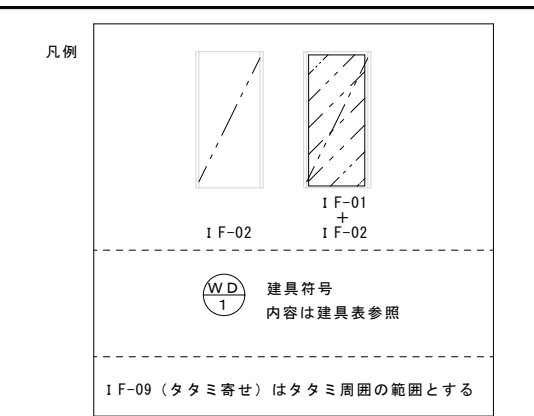
室 名	改修	床		アスベスト含有材は○	巾木		壁		アスベスト含有材は○	天 井		アスベスト含有材は○	廻縁	廻縁	備 考	
		下地			仕上	H	下地			下地						
風除室	現況	モルタル	磁器質200角タイル貼り		木製 OSCL	100	LGS ALC	壁：ダンカー貼り H=2,000 腰：P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=9.0貼り		塩ビ製	3,000		
	改修	（非改修）	（非改修）		（非改修）			（非改修）		（非改修）	（非改修）		（非改修）			
玄関	現況	コンクリート金ゴテ （床暖房）モルタル	磁器質200角タイル貼り		木製 OSCL	100	LGS ALC	壁：ダンカー貼り H=2,000 腰：P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=15（リブ）貼り		木製	3,000～ 5,250		
	改修	（非改修）	（非改修）		（非改修）			（非改修）			（非改修）		（非改修）			
下足室	現況	コンクリート金ゴテ （床暖房）	500角タイルカーベット敷き		木製 OSCL	100	LGS	壁：ダンカー貼り H=2,000 腰：P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=15（リブ）貼り		木製	3,000	下足入	
	改修	（非改修）	（非改修）		（非改修）			（非改修）			（非改修）		（非改修）			
ホール	現況	コンクリート金ゴテ （床暖房）	500角タイルカーベット敷き		木製 OSCL	100	LGS ALC	壁：ダンカー貼り H=2,000 腰：P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=15（リブ）貼り		木製	6,000～ 7,800		
	改修	（非改修）	一部、小広間として改修		一部同等改修			一部同等改修			（非改修）		（非改修）			
食堂	現況	モルタル コンクリート金ゴテ（床暖房）	磁器質200角タイル貼り		木製 OSCL	100	LGS ALC	壁：ダンカー貼り H=2,000 腰：P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=15（リブ）貼り		木製	3,000～ 5,250		
	改修	（非改修）	（非改修）		（非改修）			（非改修）			（非改修）		（非改修）			
厨房	現況	アスファルト防水 土留コンクリート	エポキシ樹脂系塗床材（ノスリブ）工法	○	床材立上げ	100	LGS	壁：耐水P B t=12.5下地 ステンレスt=1.0貼り H=1,500 腰：耐水P B t=12.5下地 化粧ケイカル板貼り	○	LGS	ケイ酸カルシウム板t=6目透し張り ＶＰ塗り	○	塩ビ製	2,700	カウンター ケイ酸カルシウム板石綿含有調査済、含有なし	
	改修	脱脂処理	新規：エポキシ樹脂系塗床材（ノスリブ）工法		床同等改修			新規：壁：耐水P B t=12.5下地 ステンレスt=1.0貼り			新規：ケイ酸カルシウム板t=6張り ＶＰ塗り		新規：塩ビ製	2,700	新規：カウンター	
食品庫	現況	コンクリート金ゴテ	エポキシ樹脂系塗床材（ノスリブ）工法	○	ビニール巾木	60	LGS	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし貼り ＶＰ塗	○	LGS	ケイ酸カルシウム板t=6目透し貼り ＶＰ塗り	○	塩ビ製	2,500	木製棚は既存のまま非改修 ケイ酸カルシウム板石綿含有調査済、含有なし	
厨房に統合	改修		厨房として改修		厨房として改修			厨房として改修			厨房として改修		厨房として改修			
更衣室	現況	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシートt=2.0貼り		ビニール巾木	60	LGS	P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	化粧P B t=9.5貼り		塩ビ製	2,580		
厨房に統合	改修		厨房として改修		厨房として改修			厨房として改修			厨房として改修		厨房として改修			
職員玄関2	現況	モルタル コンクリート金ゴテ	100角タイル貼り		磁器質タイル ビニール巾木	100 60	LGS	P B t=12.5下地 E P 塗		LGS	化粧P B t=9.5貼り		塩ビ製	2,580		
規模縮小改修	改修		（非改修）		一部既存同等改修			一部P B t=12.5下地 全面ビニルクロス貼り			新規：化粧P B t=9.5貼り		新規：塩ビ製	2,580		
職員便所	現況	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシートt=2.0貼り		ビニール巾木	60	LGS	耐水P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	化粧P B t=9.5貼り		塩ビ製	2,500		
厨房に統合	改修		厨房として改修		厨房として改修			厨房として改修			厨房として改修		厨房として改修			
大広間	現況	モルタル木ゴテ 杉・フォームt=65	タタミ敷きt=55 一部 縁甲板t=15張り		タタミ寄せ	—	LGS ALC	P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り（一部 GL工法）		LGS	P B t=9.5捨張り ビニルクロス貼り		木製	3,000～ 4,200	ビニルクロス石綿含有調査済、含有なし	
	改修	（非改修）	（非改修）		（非改修）		図示	図示改修			（非改修）		（非改修）			
小広間	現況	モルタル木ゴテ 杉・フォームt=65	タタミ敷きt=55 一部 縁甲板t=15張り		タタミ寄せ	—	LGS ALC	P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り（一部 GL工法）		LGS	P B t=9.5捨張り 和室用ビニルクロス貼り		木製	2,700	ビニルクロス石綿含有調査済、含有なし	
	改修	一部木組に改修	新規：タタミ敷きt=55 一部 縁甲板t=15張り		新規：タタミ寄せ		LGS	部分改修：P B t=12.5+12.5下地 全面改修：ビニルクロス貼り		LGS	新規：P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=9.0貼り		アルミ	2,700		
レストルーム	現況	コンクリート金ゴテ（床暖房）	500角タイルカーベット敷き（デザイン敷）		木巾木	100	ALC LGS	P B t=12.5下地 遮音シートt=1.0 ビニルクロス貼り（一部 GL工法）		LGS	P B t=9.5捨張り ロックウール吸音板t=9.0貼り		塩ビ製	2,700		
小広間に統合	改修	踏込み部はタイルカーベット敷	小広間として改修		小広間として改修			小広間として改修			小広間として改修		小広間として改修			
廊下	現況	コンクリート金ゴテ （床暖房）	500角タイルカーベット敷き（デザイン敷）		木製 OSCL	100	ALC	壁：ダンカー貼り H=2,000 腰：P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ビニルクロス貼り		木製	3,000		
	改修	（非改修）	（非改修）					（非改修）			（非改修）		（非改修）			
押入（共通）	現況	木製床組	ラワン合板t=12張り		雑布摺	—	LGS	P B t=12.5下地 ビニルクロス貼り		LGS	P B t=9.5捨張り ビニルクロス貼り		木製	2,300	中段	
	改修	既存同等改修	既存同等改修		既存同等改修		LGS	ラワン合板t=9張り		LGS	ラワン合板t=5.5張り		木製	2,400	中段、枕棚	







内部解体リスト	
符号	解体内容
I K-01	ステージ解体
I K-02	ベンチ・踏み解体
I K-03	床の間・押入れ造作解体
I K-04	木製建具解体
I K-05	壁P B解体、壁紙、合板共
I K-06	壁L G S解体
I K-07	壁紙はがし
I K-08	天井ボード解体
I K-09	天井L G S解体（吊りボルト残存）
I K-10	木製カーテンボックス解体
I K-11	床カーペット解体
I K-12	床タタミ解体
I K-13	床根太フォーム解体
I K-14	木製カウンター解体
I K-15	壁耐水P B＋S U S板解体
I K-16	壁ケイカル板t=6解体（アスベスト含有材）
I K-17	床点検口撤去
I K-18	天井ケイカル板t=6解体（アスベスト含有材）



内部改修リスト	
符号	解体内容
I F-01	床根太フォームt=65敷設モルタル共
I F-02	床タタミ敷き
I F-03	板タタミ合板縁甲板t=12張り ラワン合板12捨て張り共
I F-04	木床組 根太45×60@300、敷土合100×60@900
I F-05	タイルカーペットt=6敷き
I F-06	ラワン合板t=12張り
I F-07	クローゼット棚板セット YKKラフォレストA同等品
I F-08	クローゼット枕棚板セット YKKラフォレストA同等品
I F-09	床タタミ寄せ
I F-10	木製框取付け90×150 YKKタフテクトN用
I F-11	木製巾木H=100 2-U C塗装
I F-12	長尺塩ビシートt=2.0貼り
I F-13	ソフト巾木H=60
I F-14	床モルタル金ゴテ押えt=50 (図示旧食品庫・玄関部分)
I F-15	床エポキシ塗装 (厨房内全域) (既存巾木共)
I F-16	床脱脂クリーニング (厨房内全域)
I F-17	床点検口取付けアルミ600角
I C-01	天井LGS19組
I C-02	天井PB9.5+岩綿吸音板9張り、アルミ廻り縁
I C-03	天井ケイカル板t=6+AE P塗装、塩ビ廻り縁
I C-04	天井化粧PB9.5張り、塩ビ廻り縁
I C-05	天井ラワン合板t=5.5張り
I C-06	PB9.5張りビニールクロス貼り
	※天井工事内容は天井伏図による
I W-01	壁LGS90組
I W-02	壁PB12.5+12.5張り
I W-03	壁PB12.5張り
I W-04	壁ラワン合板t=9張り
I W-05	壁ビニールクロス貼り
I W-06	壁練り付け合板張りt=6㎝'リウタン樹脂 (2-UC) 塗装 FL±0～2,000まで
I W-07	壁練り付け合板上部木製見切りH90㎝'リウタン樹脂 (2-UC) 塗装
I W-08	上壁 耐水PBt=12.5張り下地 EP塗装 H=1,500～2,700 下壁 耐水PBt=12.5下地 SUS=1.0貼リ FL+100～1,500 周囲コーキング
I W-09	木製建具枠'リウタン樹脂 (2-UC) 塗装
I W-10	木製建具枠 (塗装無し)
I W-11	サッシ額縁 障子枠 (敷居鴨居共)
I W-12	厨房大広間仕切り部分LGS開口部鉄骨補強
I W-13	大広間付け柱改修
I W-14	壁LGS65組
	建具・カウンターは建具表による

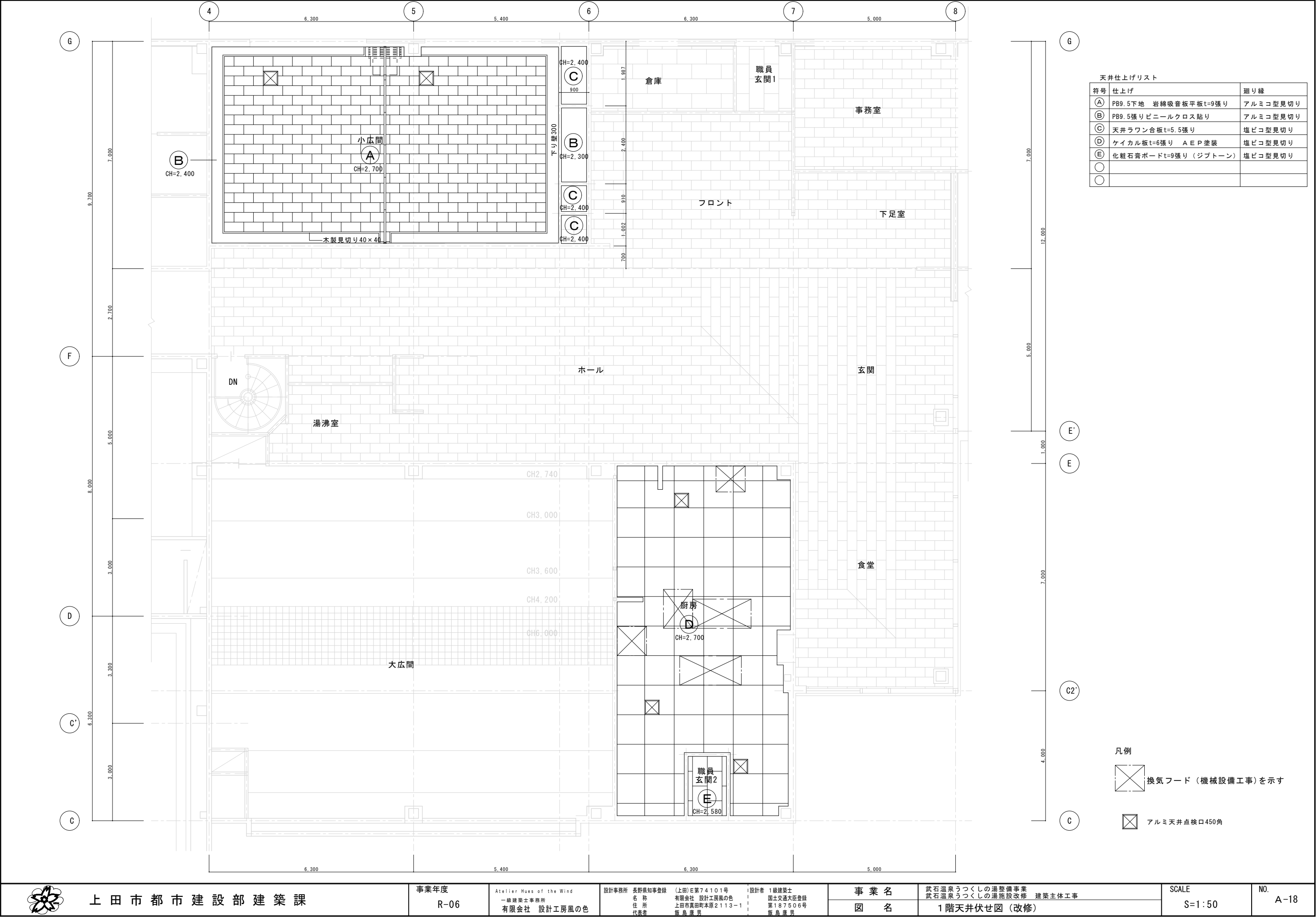


天井仕上がりリスト	
符号	仕上げ
(A)	PB9.5下地 岩綿吸音板平板t=9張り
(B)	PB9.5張りビニールクロス貼り
(C)	天井ラワン合板t=5.5張り
(D)	ケイカル板t=6張り 塗装（アスベスト含有材）
(E)	化粧石膏ボードt=9張り（ジブトーン）
○	
○	

凡例

天井解体部分を示す





天井仕上がりリスト		
符号	仕上げ	廻り縁
(A)	PB9.5下地 岩綿吸音板平板t=9張り	アルミコ型見切り
(B)	PB9.5張りビニールクロス貼り	アルミコ型見切り
(C)	天井ラワン合板t=5.5張り	塩ビコ型見切り
(D)	ケイカル板t=6張り AEP塗装	塩ビコ型見切り
(E)	化粧石膏ボードt=9張り (ジプトーン)	塩ビコ型見切り
○		

- 凡例
- 換気フード（機械設備工事）を示す
- アルミ天井点検口450角

建具符号	(WD 1) 厨房（ホール側）	(WD 2) 厨房（大広間側）	(WD 3) 厨房（職員玄関側）	(WD 4) 小広間	(WD 5) 小広間	(WD 6) 掃除用具入れ	(WS 1) 小広間	(SD 1) 小広間
窓								
形状・数量	木製上吊り片引き戸（アウトセット） 1ヶ所	木製片開き戸 1ヶ所	木製片開き戸 1ヶ所	木製引違い押入れ戸 1ヶ所	木製両開き押入れ戸 1ヶ所	木製片開き戸 1ヶ所	4本引き木製障子 2ヶ所	高遮音親子開きスチールドア 1ヶ所
材質・見込寸法	練り付け合板・ポリ合板フラッシュ 40	練り付け合板・ポリ合板フラッシュ 40	両面ポリ合板フラッシュ 40	ラワン合板下地 ふすま紙 40	ラワン合板下地 ふすま紙 40	練り付け合板フラッシュ 40	杉 障子紙タフトップ 30	溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 45（扉厚）、170（枠見込み）
硝子・塗装	※リリケン樹脂（2-UC）塗装	※リリケン樹脂（2-UC）塗装	FL3	---	---	※リリケン樹脂（2-UC）塗装	---	焼付塗装（指定色）
金物	上レール、サイドカバー、吊り車、上下戸当り	レバーハンドル、丁番	レバーハンドル、丁番	引手、敷居滑り	取手、丁番	レバーハンドル、丁番	木製引手、敷居滑り	レバーハンドル、丁番、D.C.、SUS番据、フランス落とし
備考	下部ガイド、アウトセット引き戸縁錠、他標準金物一式							三和シャッター工業 MSF35同等品

建具符号	(AD 1) 風除室	(K 1) 厨房
窓		
形状・数量	周囲Fix アルミ自動ドア 1ヶ所	木製カウンター 1ヶ所
材質・見込寸法	アルミ電解着色 70	タモ集成材 t=30
硝子・塗装	高性能熱線反射ガラス t=6	ポリウレタン樹脂ワニス（2-UC）塗装
金物	---	支持金物5PL-5×50×560
備考	建物沈下補正工事前に既存ガラス撤去 建物沈下補正工事後に新規ガラス入れ（ハッチング部分のみ）	

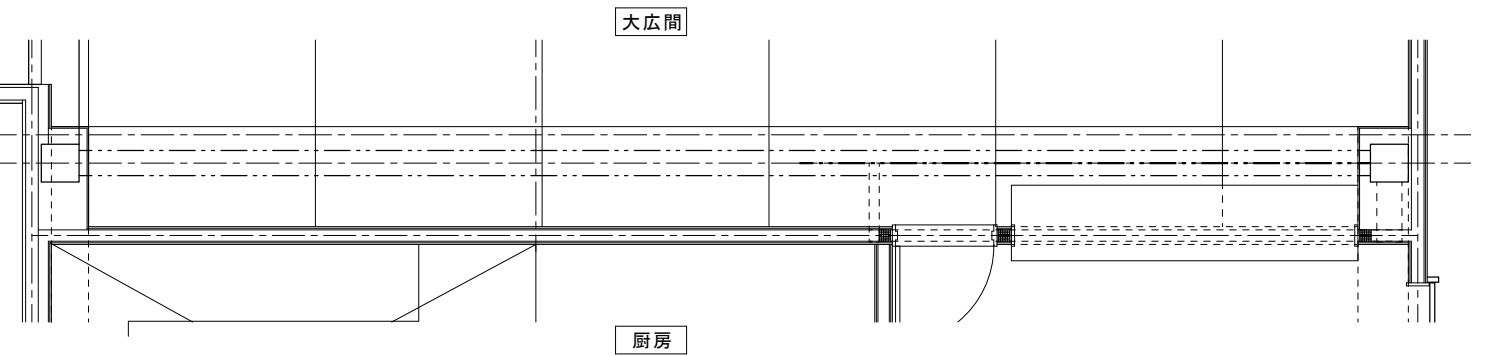
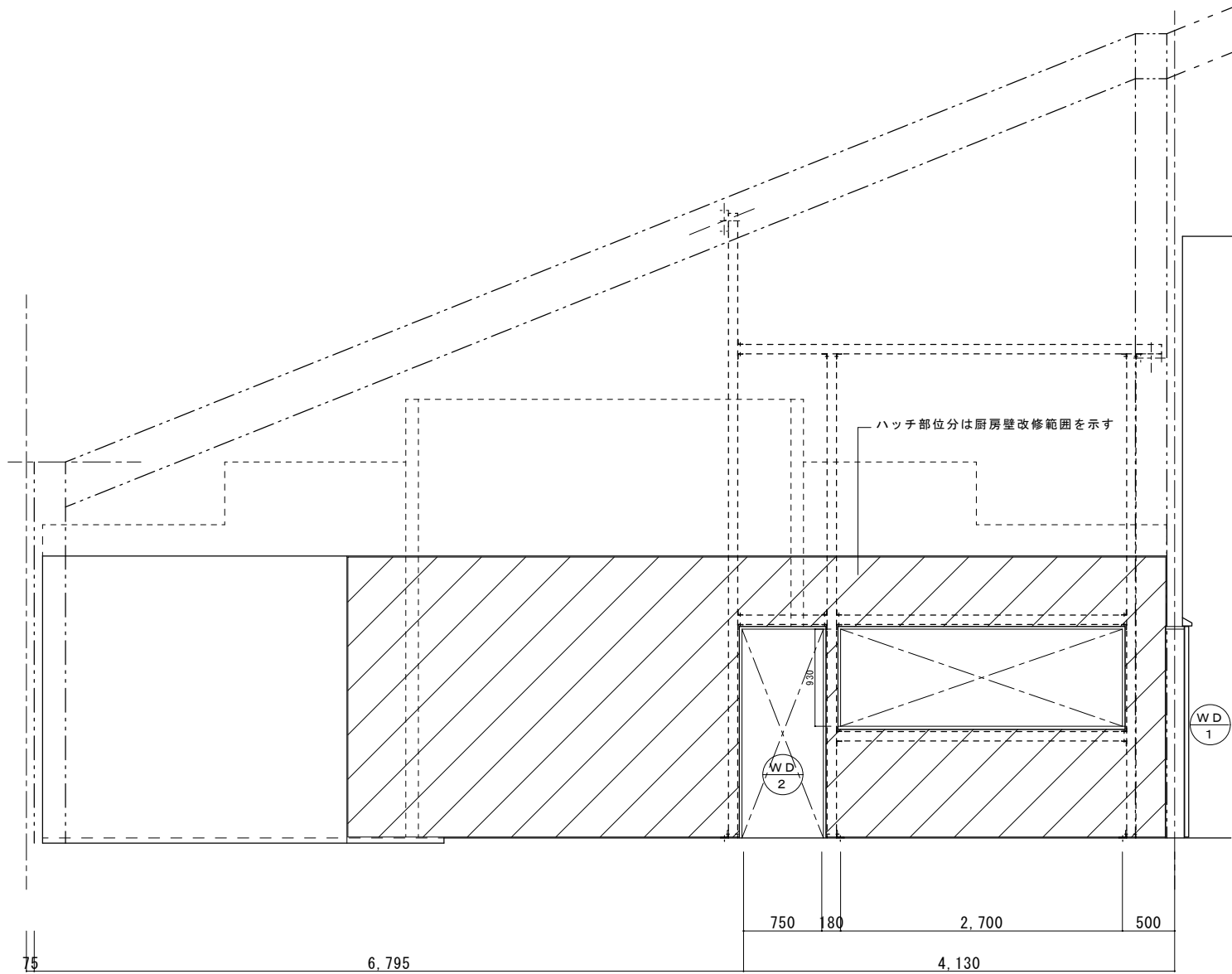
浴室ろ過給湯管カバープレート詳細図 S=1：10	
形状・数量	浴室ろ過給湯管カバープレート
材質・見込寸法	カラーSUS t=1.0
硝子・塗装	---
金物	下地L-30×30（SUS）
備考	

建具符号	(SW 1) 小広間
窓	
形状・数量	スライディングウォール（遮音タイプ） 1ヶ所
材質・見込寸法	木製 60
硝子・塗装	石膏ボード9.5 ビニールクロス貼り
金物	パネル本体、ハンガーレール、上下シールゴム、握り込み引手
備考	ニチペイ SW-60SB-L 同等品

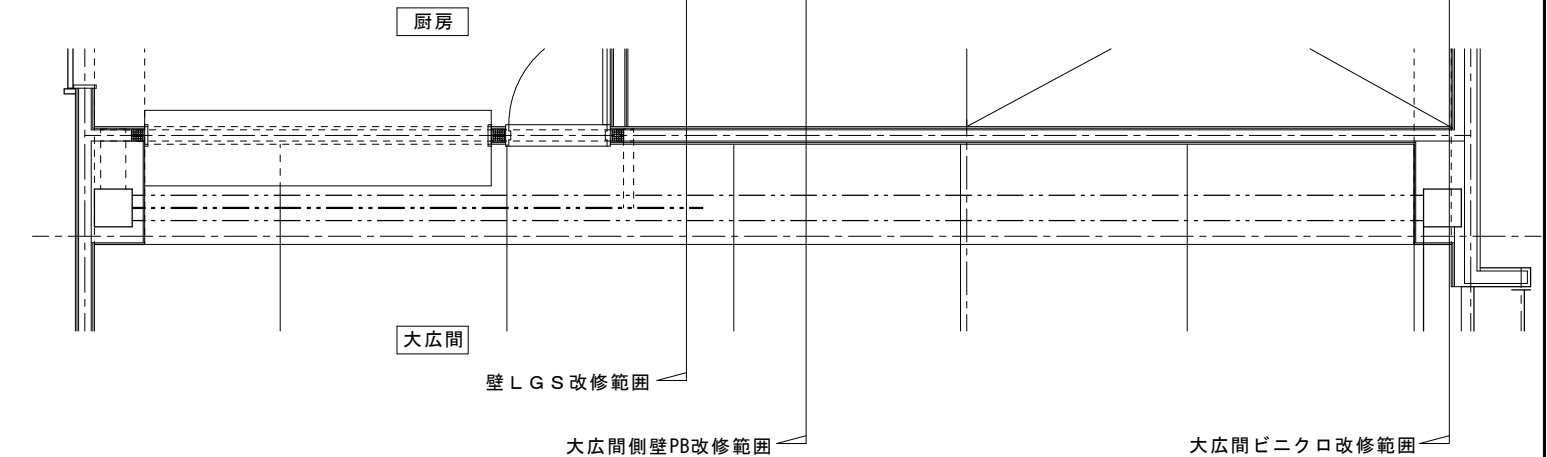
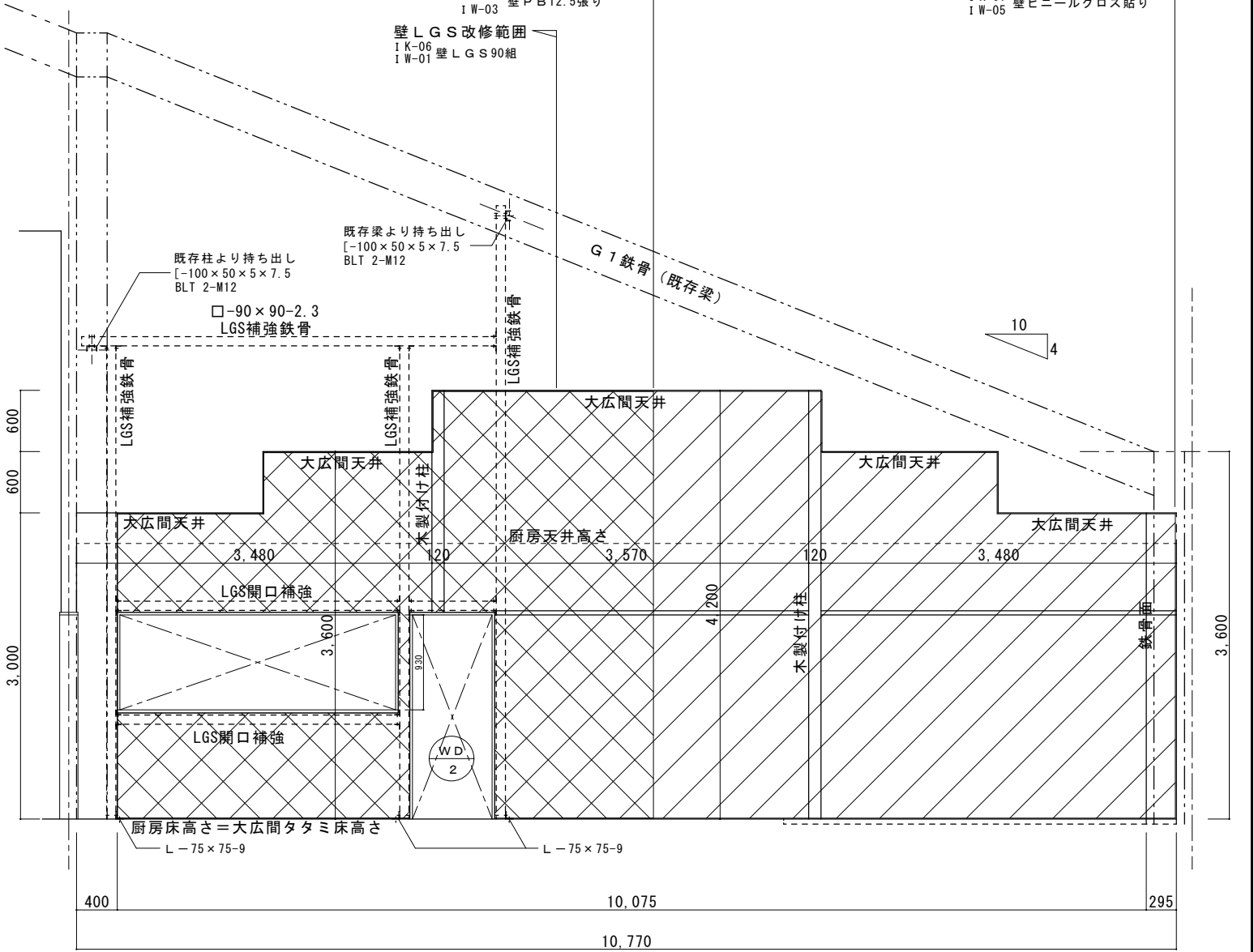
スライディングウォール地下詳細図 S=1：5	
形状・数量	スライディングウォール（遮音タイプ） 1ヶ所
材質・見込寸法	木製 60
硝子・塗装	石膏ボード9.5 ビニールクロス貼り
金物	パネル本体、ハンガーレール、上下シールゴム、握り込み引手
備考	ニチペイ SW-60SB-L 同等品

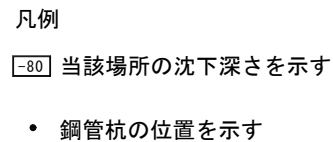


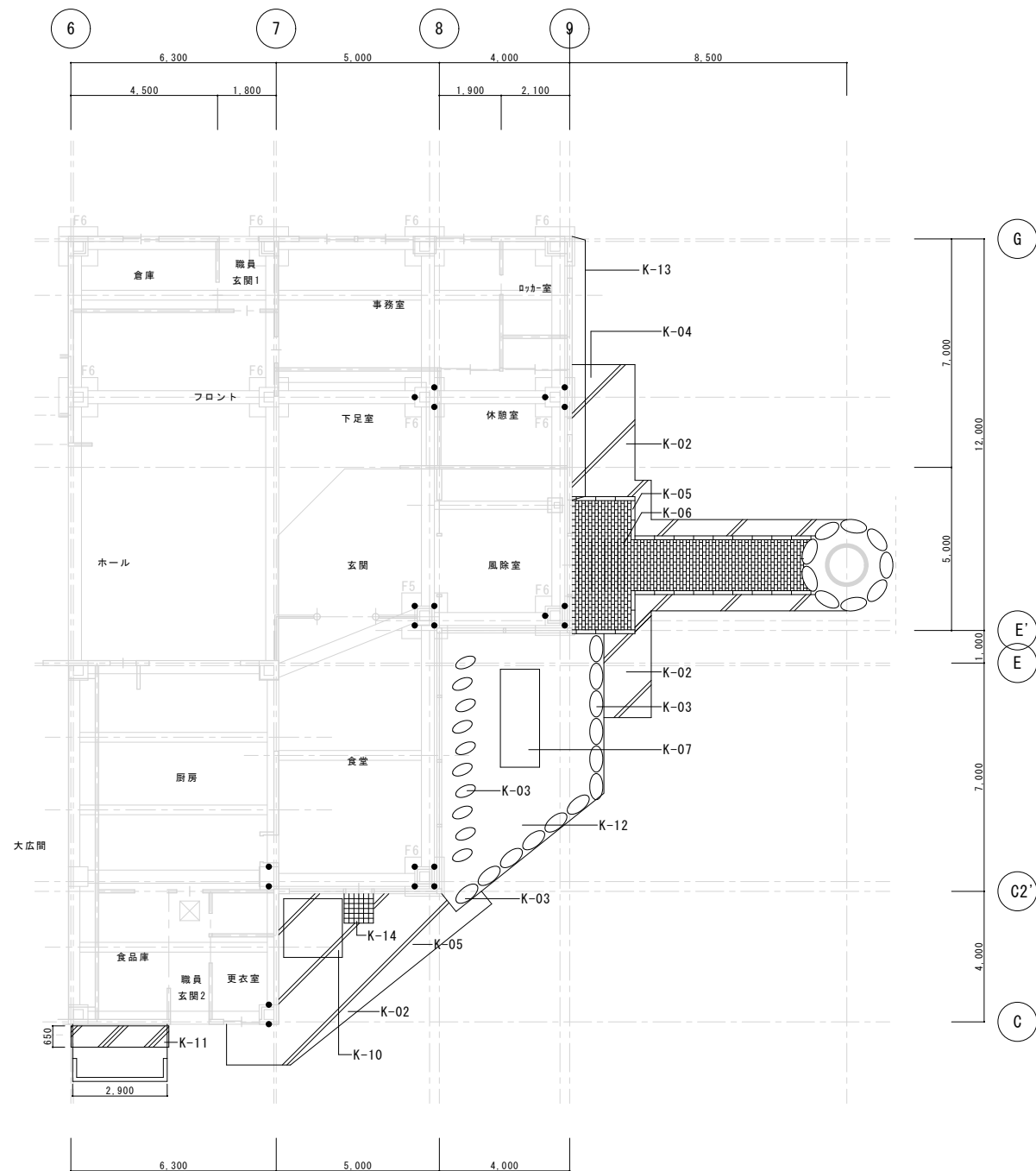
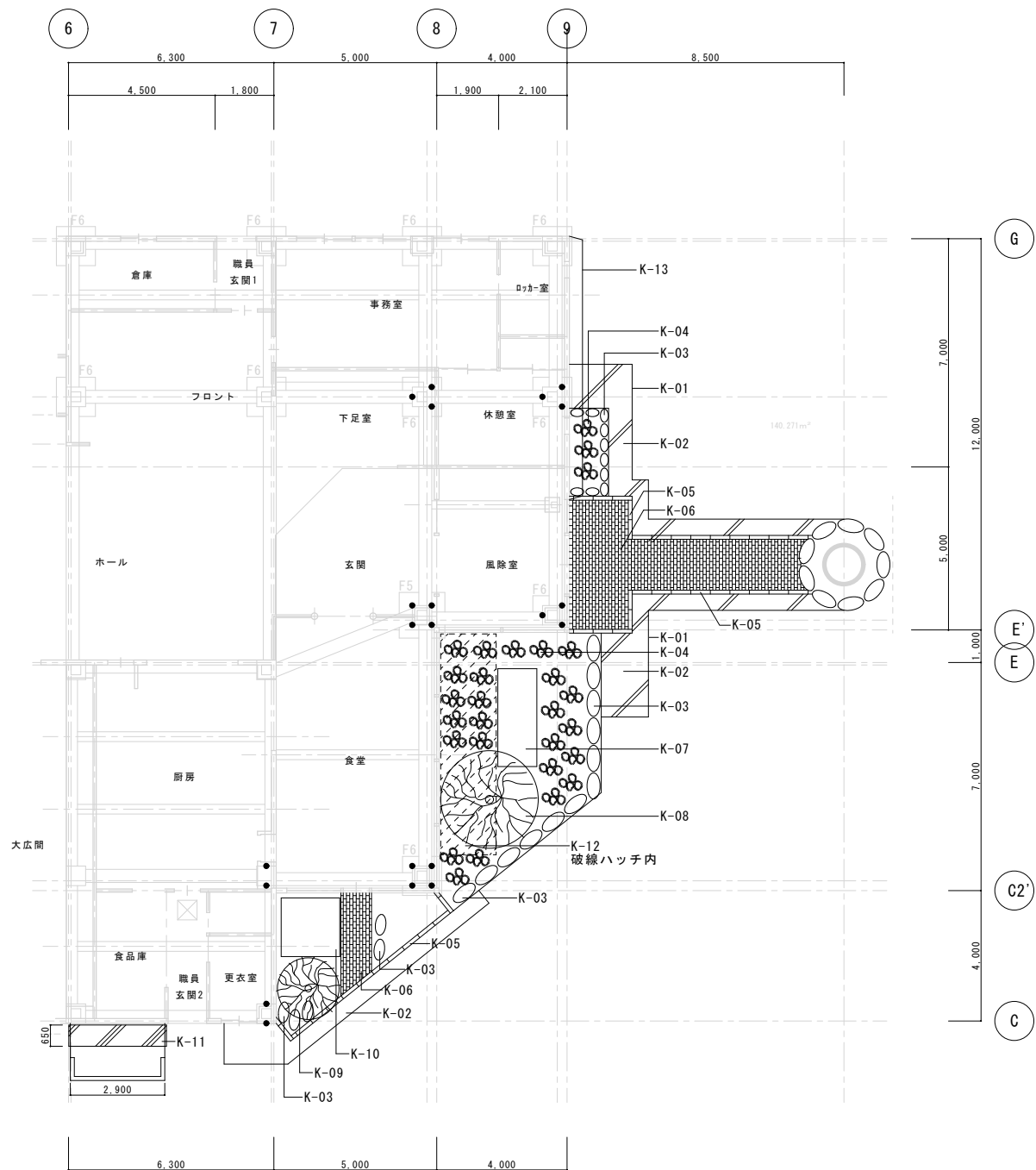
厨房側



大広間側







外構解体指示図

解体工事リスト

符号	解体内容
K-01	アスファルト舗装カット
K-02	アスファルト舗装撤去・処分
K-03	自然石緑石撤去処分
K-04	密植サツキ撤去処分
K-05	コンクリート緑石撤去処分
K-06	インターロッキング撤去処分
K-07	庭石（3.0×1.2×1.1）一時隣接移動保管
K-08	植木（赤松）撤去処分W3.0,H6.0程度
K-09	植木（モミジ）撤去処分W2.0,H5.0程度
K-10	プレハブ喫煙所一時撤去場内保管・再設置W1.8,D1.8H2.5
K-11	コンクリート土間解体撤去
K-12	埴土撤去H=0.3
K-13	A L C下端コーキング撤去

外構復旧指示図

解体復旧・改修リスト

符号	復旧内容	復旧仕様
K-01	---	---
K-02	アスファルト舗装復旧	砕石路盤t=150、粒調砕石t=100、密粒アスコンt=40
K-03	場内保管既存石再設置	---
K-04	---	---
K-05	---	---
K-06	インターロッキング復旧	インターロッキング新規品復旧t=6、敷砂t=30砕石路盤t=100
K-07	場内保管庭石再据付け	---
K-08	---	---
K-09	---	---
K-10	場内保管再設置	コンクリート=t150、D10@200シングル
K-11	新規再構築	コンクリート=t120、D10@200シングル、根入れ300
K-12	玉砂利敷きt=70	---
K-13	A L C下端コーキング打ち	アクリルコーキング（既存色に合わせ着色）
K-14	踏み込み土間新設	砕石t=150+土間コンt=120（鉄筋D10@200シングル、差し筋アンカー） （根入れ300）磁器150角タイル貼り



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-06

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名 称 有限会社 設計工房風の色
住 所 上田市箕田町本原2113-1
代表者 飯島 康 男

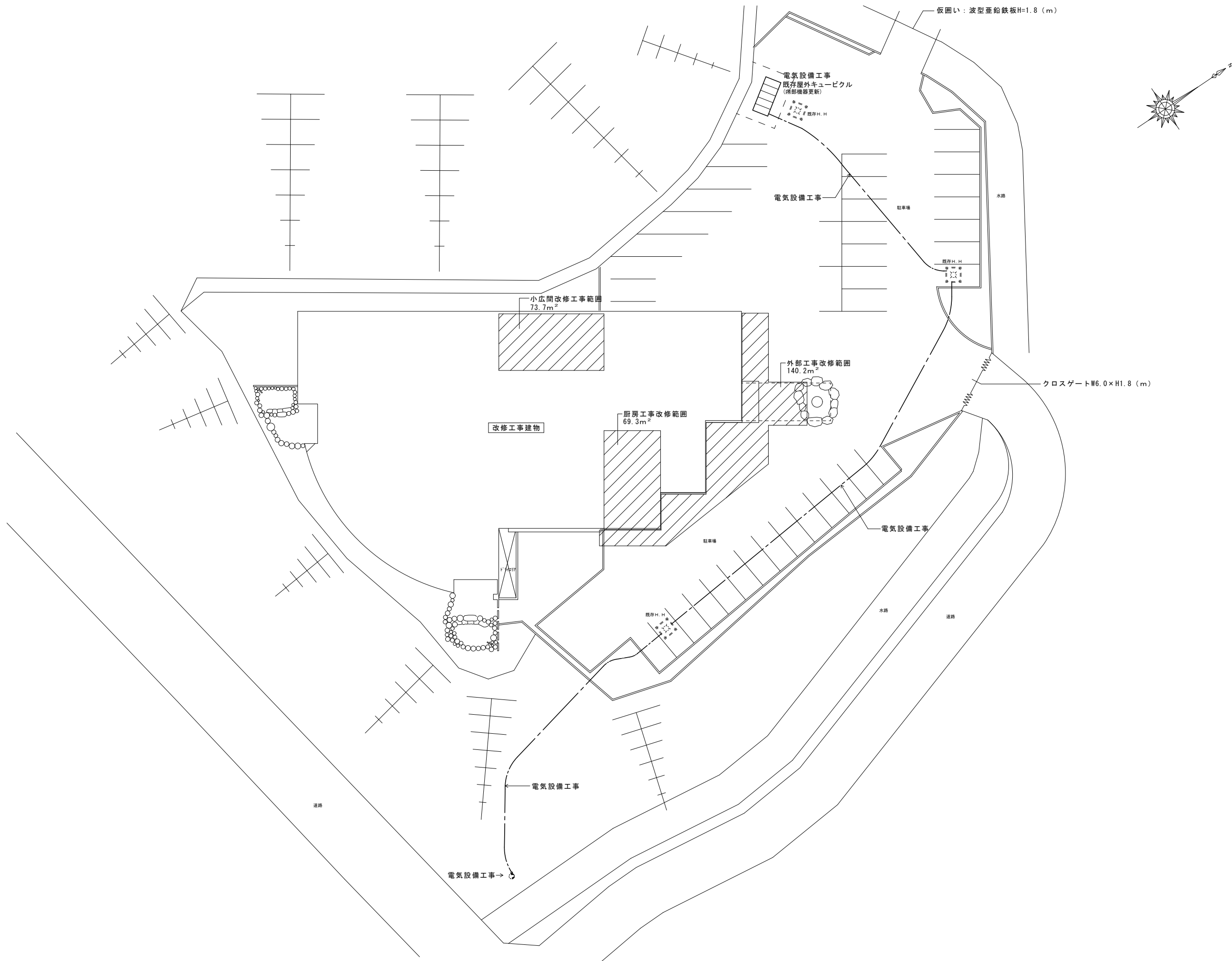
設計者 1級建築士 国土交通大臣登録 第187506号
飯島 康 男

事業名
図 名

武石温泉うつくしの湯整備事業
武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事
外構解体指示図及び外構復旧指示図

SCALE
S=1:100

NO.
A-22



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-06

Atelier Hues of the Wind
一般建築士事務所
有限会社 設計工房風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 有限会社 設計工房風の色
住所 上田市箕田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

事業名
図名

武石温泉うつくしの湯整備事業
武石温泉うつくしの湯施設改修 建築主体工事
仮設計画図

SCALE
S=1:200

NO.
A-23